

# 小平市議会ニュース

中倉茂和 なかくらしげかず | 2026年 Vol.4



## 誰ひとり取り残さない社会に！

会派 / 市議会れいわ新選組  
所属委員会 / 環境建設委員会  
・公共施設マネジメント調査特別委員会  
・小平市都市計画マスタープラン全体構想特別委員会  
発行日 / 2026年5月1日  
発行責任者 / 中倉茂和

## ごあいさつ

市議会では、各委員会ですさまざまな議案の審議が行われています。

私は、賛否を判断する際には「市民のみなさんにとって利益になるか、不利益にならないか」という視点を大切にしています。

物価高騰により、光熱費や食料品の値上げが続く中で、どのように暮らしを守っていくのかを考えることは、決して簡単なことではありません。だからこそ、一つひとつの議案を丁寧に吟味し、中長期的な視点で判断していくことが重要だと考えています。

将来振り返ったときに「あの判断で良かった」と市民のみなさんに思っていただけのように、これからは責任を持って議会に臨んでまいります。

市政や暮らしに関する不安、ご意見やご要望、お困りごとなど、どんなことでもお気軽にお聞かせください。みなさんの声を、市政にしっかりと届けてまいります。

## プロフィール

- 1960年 山口県岩国市生まれ
- 1983年 福岡大学工学部機械工学科卒
- 1983年 コンピューター保守会社にてATM等の保守業務を担当
- 1988年 音楽業界にて女優兼歌手やフュージョン系バンドのマネージャーとして従事
- 2001年 印刷会社の製袋工場にて製造現場や工場長を経て品質管理や衛生管理を担当
- 2022年 元衆議院議員秘書
- 2023年 小平市議会議員選挙初当選

<趣味> 音楽鑑賞

スポーツ観戦(野球・陸上など)

<好きな言葉> 一期一会

## report 議会で一般質問しました。

令和6年度12月と3月の定例会が閉会しましたので報告させていただきます。まずは12月定例会(11月28日)、本会議での一般質問です。

### いじめ問題を解決するために！



### いじめの即時解消のために寝屋川モデルの導入を

**Q** いじめ解消までに要した期間の平均は。また、長いものはどれくらいかかったか。

**A** 平均は捉えていないが、いじめの解消はいじめ行為が少なくとも3か月間継続してやんでいることなどを目安としている。残念ながら発生年度内に解消に至らない場合もある。

#### <質問を終えて>

いじめ問題の対策は、全国的にも喫緊の課題です。今までのように教育委員会だけでの対応だと解決するにしても長期間かかるケースが多いことから、市長直轄部局も一緒に対応に当たること、迅速で適切な処置ができて、早期解決が図られるのではとの観点で質問しましたが前向きな回答は得られませんでした。寝屋川市のように市長直轄部局の中に「いじめ問題の専門的な知識を持つ職員などで構成された監察課」を新設することもぜひ検討するべきだと思います。今後も子どもたちの安心・安全のための政策を市に訴えていきたいと考えています。

**Q** 市長直轄部局がいじめに介入等する寝屋川モデルを取り入れるための課題は。

**A** 課題の整理には至っていないが、取組の背景も異なるため、慎重な検討が必要と捉えている。

### 紙おむつのリサイクルで ごみの量の削減を！



### 紙おむつのリサイクルについて

**Q** 過去5年間の燃やすごみの紙おむつの割合と量は。

**A** 2年に1度実施しているごみ組成分析調査における割合は、令和元年度8.1%、3年度5.0%、5年度6.8%である。推計量は元年度2,505トン、3年度1,582トン、5年度2,046トンである。

#### <質問を終えて>

小平市では、ごみ袋の有料化以降、市民のみなさんのご協力により、ごみの量は着実に減ってきました。今後は紙おむつのリサイクルなど、新たな取り組みを進めることで、さらにごみを減らすことができると考えています。これは、環境にやさしいだけでなく、資源を大切に使うことにも繋がります。リサイクルやごみの削減を進め、将来的には市民のみなさんの負担軽減、例えばごみ袋の無償化といった可能性も視野に入れ、環境にやさしく、持続可能なまちづくりを目指します。

**Q** 令和6年度小平市の環境に、紙おむつの資源化の検討とあるが、どうなったか。

**A** 他市の取組等を情報収集してきたが、近隣に処理事業者がないため、現時点で実施は難しい。

3月定例会（2月27日）の一般質問は以下の2点になります。

## 太陽光発電+蓄電池で 災害に強いまちづくりを！



### 災害に強いまちづくりの一環として補助金の活用を

**Q** 東京都の家庭における太陽光発電導入促進事業、蓄電池導入促進事業を周知したか。

**A** 省・創・蓄エネルギー機器等設置モニター形成制度の募集要領等に、都の補助金のホームページアドレスを掲載等している。今後も周知に努める。

#### <質問を終えて>

東京都の太陽光パネル・蓄電池の補助制度（最大300万円）は、環境対策だけでなく防災対策としても重要です。今後、首都直下地震などの大規模災害が想定される中、自宅で電気が使えることで在宅避難が可能となり、体力的・精神的な負担軽減や関連死の防止にもつながります。ぜひ多くの市民のみなさんに、この補助制度を活用していただき、日頃からの備えを進めていただきたいと思ひます。

**Q** 太陽光発電及び蓄電池設置が防災の観点や光熱費の高騰対策としても必要だが見解は。

**A** 停電の際には自立運転機能により非常用電源として利用できるほか、日中につくった電気を使用し、余った電気は蓄え、夜間に使用することで電気料金削減ができるため、効果は大きい。

## 訪問介護に手厚い支援を！



### 誰もが必要な訪問介護を受けられるように

**Q** ビジネスケアラーが増え続けている中、訪問介護の必要性について見解は。

**A** 介護が必要な高齢者の在宅での生活を支える重要なサービスであると捉えている。

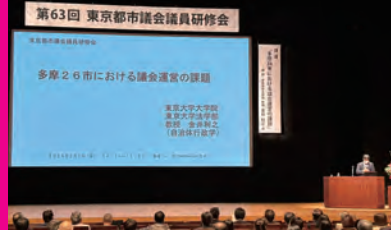
**Q** 基本報酬が引き下げられた訪問介護の小・零細事業者への市の支援は。

**A** 基本報酬引下げに伴う支援の実施はしていないが、物価高騰への支援として燃料費や光熱水費の支援を行っている。

#### <質問を終えて>

訪問介護の基本報酬の引き下げにより、全国で多くの介護事業所が厳しい経営状況に置かれています。訪問介護は、「住み慣れた自宅で暮らし続けたい」という願いを支える、地域にとって欠かせないサービスです。また、2030年には約318万人、家族介護者の4割が仕事と介護を両立する「ビジネスケアラー」になるとも言われており、訪問介護の充実には介護離職の防止にも繋がります。こうした状況を踏まえ、今後も訪問介護事業所への支援や体制の維持・強化について、市に対してしっかりと訴えてまいります。

## 日々の活動



第63回東京都議会議員研修会



第34回小平市産業まつり農産物品評会

## ちょっとブレイク！

みなさんは小平市の地名の由来をご存じですか？

1889年（明治22年）の町村合併の際、中心的な存在であった「小川村」の「小」と、武蔵野台地の平坦な地形を表す「平」を組み合わせ、「小平」と名付けられました。

実際には、市内には窪地も多く見られますが、現在はその多くが整備され、緩やかな坂道として暮らしやすい環境になっています。

平坦な道が多いこともあり、私も日常の移動には自転車を利用する機会が多くあります。

その中で、小平市の暮らしやすさを改めて実感しています。

## report 防災訓練で災害に備えを！

### 「令和7年度小平市総合防災訓練」に参加しました。

令和7年10月5日（日）、小平市立上宿小学校にて、午前9時頃の防災行政無線のサイレンを合図に、総合防災訓練が実施されました。当日は、シェイクアウト訓練をはじめ、消火器による初期消火訓練、煙体験訓練、医療救護訓練、AED取扱い訓練、炊き出し訓練、消防演習、止血法・包帯法など、多岐にわたる訓練が行われました。また、要配慮者への接し方についての体験訓練も実施され、実践的な内容となっていました。会場となった上宿小学校では、児童のみなさんも訓練に参加し、校舎屋上に残り残された

人の救出訓練では、小平消防署のはしご車が出勤。無事に救出された場面や一斉放水の場面では、大きな声援が上がり、会場は大いに盛り上がりました。私自身も初めてAEDの取扱い訓練に参加しましたが、実際に体験してみて初めて気づくことも多く、訓練の重要性を改めて実感しました。首都直下地震などの大規模災害に備えるためにも、こうした防災訓練への参加はとても大切です。今後は、より多くの市民のみなさんに参加していただけるよう、引き続き取り組んでまいります。



消防演習



はしご車一斉放水



火災現場救助訓練



マンホールトイレ



AED取扱い訓練



トイレトラック

お困りごとやご意見がありましたら  
ぜひご連絡ください。



HP



X  
(旧Twitter)